

## 日銀神戸 支店長の 視点



竜田博之氏

本年は、元日から大きな地震がありました。能登半島地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈りしております。

元日から続く地震では、いっしょどこで災害が発生するか分からないだけに、日頃からの備えが重要ということを再認識させられました。

1月17日は、阪神・淡路大震災から29年となりましたが、日本銀行神戸支店では、震災翌年から行っている当店独自の防災訓練を実施し、神戸新聞にも取り上げていただきました。企業にとつての災害対応では、従業員の安全確認を進める一方、初動で指揮

### 震災の記憶を継承

命令と連絡体制を早期に確保することが、まず大切です。訓練を通じて災害対応の知見の共有を図ることで、初動を含めてスムーズなアクションにつながれるようになります。経験を生かす観点からは、震災の記憶を風化させず継承する取り組みも、当然、大事になります。

本年の神戸ルミナリエは、年末の繁忙期に特定のエリアに来訪者が集中する影響や、震災の鎮魂の意味を考えて、1月17日に近接させて開催したと聞いています。今回の試行の結果は、しっかりと分析・検証するそうですが、光のオブジェは本当に素敵で、見ているだけで心が洗われます。

私も、今回の有料ゾーンを観賞しましたし、過去にも神戸ルミナリエ観賞のために、東京から足を運んだことがあります。多様な意見があると思いますが、来訪者の方と地域の方の互いにとつて有意義な形を見つけて、今後も貴重な震災の記憶をつなげていただければと思います。